

平成 24 年度 ひらめき☆ときめきサイエンスを開催しました。



プログラム名

未来の自分が 楽しく子育てするための体験学習

実施代表者: 日本赤十字北海道看護大学 看護学部 講師 田中 和子
実施分担者: 日本赤十字北海道看護大学 看護学部 助教 中山 絵里子

ひらめき☆ときめきサイエンスは、独立行政法人日本学術振興会の委託事業で、大学で行っている最先端の科研費の研究成果について、小学校5・6年生、中学生、高校生の皆さんが、直に見る、聞く、ふれることで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムです。

本学では中学生を対象にしたプログラム『未来の自分が楽しく子育てするための体験学習』を、平成24年9月1日(土)に中学生 14 名の参加を得て開催しました。

プログラムの目的

現代の日本では、少子化・虐待の問題に対して、様々な取り組みがされていますが、女性の6割が子育てするまで子どもと接したことがないことが明らかにされています。情報社会で正しい情報を選択し、自分が親となり、楽しく子育てするためにはどうしたらよいか、中学生の皆さんに育児模擬体験を通して考えていただく機会としてプログラムを考えました。

プログラムの概要

1. 講義

「新しい生命の誕生」をテーマに、生まれる前の状況や胎児の成長について講義。

2. DVD 視聴(ミラクルオブラブ)

3. グループワーク

「自分の考える赤ちゃん・親のイメージ」についてグループワークしてグループ発表。

4. 体験学習

- ①抱っこ、授乳(ミルク)体験、②離乳食試食体験、③オムツ交換(模擬便を用いて実施)、④沐浴見学、⑤子育て体験談をきく、⑥妊婦シミュレーション体験、⑦DVD視聴(乳幼児の発達と保育)



5. 修了式(「未来博士号」授与)

受講者全員に対して河口学長から修了証書が受講生の皆さんに手渡され、「未来博士号」が授与されました。

参加者の皆さん、協力者の皆さん、
お疲れ様でした。

